

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名 つみき第3 保護者等数(児童数) 33 回収数 16 割合 48%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	12	4	0		収納の工夫等を通して、室内をできるだけ広く使えるようにしていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切である	16	0	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされている	9	7	0		ビルの3階にあり、エレベーターの狭さもあるため難しい部分もあるが、引き続き障壁が極力なくなるよう検討していく。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	16	0	0		
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	16	0	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	9	4		保護者・利用者等のニーズも踏まえ、交流の機会を検討し、また保護者への報告の方法についても検討していく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0		懇切丁寧な説明を心がけていく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている	16	0	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	15	1	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	11	4	1	参加できなかったが保護者会はあった。	多くのご参加を頂けるよう、内容や日時設定を検討する。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	3	0	苦情について、出そうと思ったことがないのでわからない。(回答なし)	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16	0	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	15	1	0		
	⑭	個人情報に十分注意している	16	0	0		
非常 時等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	11	5	0		引き続きマニュアルがあることや内容等について、保護者へ説明を行っていく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10	6	0		引き続き避難訓練の状況等について、保護者へ説明を行っていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしている	15	1	0	楽しく通っている。 気分に影響されることがある。	楽しく通えるよう、雰囲気や居場所としての役割を自認しながらサービス提供に務める。
	⑱	事業所の支援に満足している	16	0	0		利用者、保護者共に満足・安心して通所していただけるよう努めていく。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等
 デイサービス自己評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名

つみき第3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	2		活動室内に置くものをできるだけ増やさない	いらぬものを捨て、 室内スペースの活用 方法を検討していく。
	②	職員の配置数は適切である	5				お迎えに行く学校や子供の人数・下校時間がまちまちなので、人のやりくりで大変な面がある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	1	4		できるだけの 差を作らない 等配慮している	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	1	2	2		職員間で課題等の共有を 深め、共通認識を持って改善を進めていく
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	3		オンライン等活用し全体の研修を行っている。	障がい理解・事業所間での事例検討・他事業所見学研修、脳の研修、子育ての研修等の要望があったため、実施できるよう検討していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	4			共通理解を深めていけるよう、計画の作成等の面で工夫していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	2		アセスメントの方法等について、より利用者の実際に適した方法を検討していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	3	1	曜日ごとに担当を分け、相互に相談しながら行っている。	曜日をまたいで同じ活動を行うなど活動内容の共有をさらに深めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		狙いを持って、子供たちも飽きないよう工夫している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	4			平日と学校休業日の活動内容の差別化を検討していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	1	4			個別活動・集団活動の認識等を職員間で共有し理解を深めていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	3	2			出勤後に毎日行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				パート職員との共有方法について活動記録を活用する。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				効率的に時間を使えるようにしていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	4	1			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	4	1			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4	1			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る			5		現状ケア児はいないが、 今後必要があれば相談して いきながら対応する事を職 員間で確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている		3	2		保護者からの求めに 応じ対応していくことを 職員間で確認してい る。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		3	2		保護者からの求めに 応じ対応していくことを 職員間で確認してい る。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	4			法人として連携してい ることを職員に周知し ていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	2	3		公園等で交流するこ とがある。	交流の方法について、 検討を重ねていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	2	3		法人の代表が参加し フィードバックを受け ている。	参加の状況を職員間 でさらに共有していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5			送迎時や、電話連絡 等活用し、こまめに 情報の共有を行って いる。	送迎時の申し送りを、 引き続き丁寧に行っ ていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	3	2		保護者の求めに応 じ助言や提案を行 っている。	保護者向けの研修会 の実施など検討してい く。
	保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	1		
㉑		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			職員間でも情報共 有しながら適切に 対応できるようにし ている。	
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	5				コロナ禍以降久し振りに保護者 会を開催したが盛況であった。 今後も保護者同士の連携の一 助となるよう、定期的に開催し ていく。
㉓		子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	5				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明責任等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				法人全体に配布するつきき新聞や、月々の予定表を通して、引き続き事業内容が保護者に伝わる体制を構築していく。
	③⑤	個人情報に十分注意している	5				
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				利用者保護者の障害にも配慮し、適切に対応している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		記念式典には地域の関係者等を招待した。	地域住民の参加できるイベント等も検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5				必要に応じて、マニュアル内容の周知の機会を設ける等検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			現状身体拘束を必要とする利用者はいないが、受け入れ時の対応は周知している。	身体拘束の要件等について、年度ごとに確認することで職員の虐待防止の意識の向上を図る。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	1	アレルギーについては保護者の求めに応じて、可能な範囲で除去対応している。	ご家庭にあるアレルギー検査結果の共有を求めると、必要な情報の収集に引き続き務めていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			法人全体で集約し共有している。	書式等書きやすいものにアップデートしながら、引き続き取り組んでいく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。